

# k - ふれあいネット

上都賀教育事務所ふれあい学習課

鹿沼市今宮町1664-1

0289-62-7167

## ふれあい学習ネットワーク

子どもの6人に1人が相対的に貧困状態にあることが社会問題となり、メディアでも取り上げられる機会が増えました。しかし、その実態は見えにくく、気づきにくいので実感できない方も多いのではないのでしょうか。

上都賀教育事務所では、子どもたちに関わる様々な立場の方々に「ふれあい学習推進委員」をお願いし、子どもの貧困問題について話し合いを続けてきました。こうした問題を参加者の皆さんと一緒に考えていく場として、2月3日（金）鹿沼市民文化センターにて、「ふれあい学習ネットワーク」を開催しました。内容は「パネルディスカッション」「協議、情報交換、質疑」「社会教育主事受講者報告」です。

パネルディスカッションは、「気づいていますか？子どもの貧困～つながろう！広げよう！子どもたちの



パネリストの方々

の未来のために～」をテーマに、宇都宮大学教育学部教授 陣内氏をコーディネーターとして、推進委員の方々がパネリストとなって行いました。子どもや家庭における貧困の現状や課題、また、解決の手立てについて、認定 NPO 法人

だいじょうぶ理事長 畠山氏、鹿沼市こども家庭課飯塚氏、日光市立今市第三小学校教頭 松浦氏、認定子ども園仁神堂幼稚園長 島氏からお話頂きました。

主な内容は、貧困の問題は外部からは見えにくいので、行政や関係機関の必要な支援を行いにくいこと、また、二次的な問題として不登校や非行、虐待、貧困の連鎖などにつながりやすいことなどでした。それぞれの立場での取り組みや気づきを、事例などをとってお話し頂きました。さらに、解決の手立てと

して、「各関係機関が密に連携すること」「子どもに一番近い立場の学校が中心となり、貧困という視点をもって子どもたちや家庭に接したり、必要な機関につなげたりする必要があること」についてもディスカッションを行いました。



熱心に協議する参加者

参加者の話し合いでは、学校や地域で私たちに何ができるのか、どんな視点で子ども達を見守り、育てていくべきか等、多くの問いや気づきが生まれました。

参加者の皆様は、情報交換、協議においても様々な立場の方と意見交換して下さり、パネルディスカッションも含め、以下のような感想を頂きました。

- ・学校、地域が大切な役割を担っていることがよく分かり、貧困の問題について考えるよい機会になりました。また、貧困が差し迫った問題であることを改めて感じました。
- ・子どもの貧困についてはよく耳にはするが、他人事のように考えていました。お話を聞き、貧困の問題が見えていないだけで、実際にはかなりあることが分かりました。
- ・地域の様々な立場の方との協議では、新たな視点に気づくことができました。貧困という視点をもって寄り添い、つなげていくための土台づくりをしていこうと思いました。

受講者報告では、今年度、社会教育主事講習を受講した方に、講習を通して学んだことや、取り組んでいきたいこと等を報告いただきました。「架け橋」第8号



講習を受講して

（HP でも御覧いただけます）に受講者の方を御紹介していますので、御覧ください。

## 文化事業の御紹介

今年度も文化庁による「文化芸術による子供の育成事業」が上都賀管内で実施され、児童生徒が本物の芸術に触れる、貴重な機会となりました。「巡回公演事業」は、管内小中学校5校で合唱、バレエ、オーケストラ、和太鼓、ミュージカルを実施しました。

また、「芸術家の派遣事業」では、管内小中学校5校に、管楽器、和太鼓、木版画の講師が派遣され、児童生徒が芸術家から直接指導を受けることができました。この他に日本芸術院会員が学校を訪問し、講話や実技披露を行う「子ども夢・アート・アカデミー」事業も実施され、管内1中学校に日本画の専門家が派遣されました。この事業は、後日、次年度の実施希望調査を行いますので、希望がありましたら御応募ください。



巡回公演事業「合唱」(東京混声合唱団)

# 親学習プログラム指導者フォローアップ研修

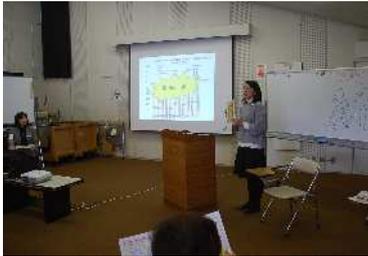
2月22日(水)に日光市中央公民館視聴覚室において、地区内の親学習プログラムで活躍いただいている方や関係行政職員の方等にお集まりいただき、フォローアップ研修を実施しました。御存知の方も多いと思いますが、栃木県では、就学時健康診断の際などに親学習プログラムを実施しています。

今回は、二つの内容の研修を実施しました。一つ目は、幼児教育についてです。近年制度が改正された幼稚園、保育園、認定こども園の制度についての話や幼児期の「遊び」の重要性について、ワークショップも交えて教えて頂きました。講師は、栃木県総合教育センター幼児教育部よりお招きいたしました。

また、後半の研修は、本事務所主催の「ふれあい学習推進会議」でも取り扱った「幼児教育について(総合教育センター講師)組んでいる「こどもの貧困対策」についてでした。テーマを「気づこう!つながろう!子どもたちを貧困から救うために」としました。貧困問題は見えにくく、気づきにくいものです。そのため、親学習チームの皆様にも貧困の状況を知っていただき、日頃の経験を生かして、様々な見方でテーマへの御意見を頂きました。



幼児教育について(総合教育センター講師)



子どもの人権について  
(人権啓発リーフレットを使って)



貧困問題の現状について  
(子どもを貧困から救うために)



話し合い

参加の皆様は、積極的な意見交換をしてくださいました。以下、感想を挙げたいと思います。

- ・親学習プログラムには正しい答えがあるわけではないので、ファシリテーターとして、前に立つときにも、参加者の一人一人を大切に、どなたに対しても平等に接することができるよう心掛けてまいります。
- ・幼児期に「遊び」が大切であるということは、日常生活ではつい忘れてしまいがちです。しかし、たくさん具体的な事例からとても大切であると実感することができました。先生に鉛筆の持ち方を指摘され続けた男の子が、鉛筆を持つ手を隠してしまう行為のお話はとても印象的でした。
- ・貧困の問題は、今まで全く身近にない話題でした。とにかく知ることから始まった研修でした。私たちに何ができるか・・・そう考えることがすでに上から物事をとらえているのだとも思いました。

記事をお読みになって興味をわいた方は、来年度の親学習プログラム指導者研修を受講されてみてはいかがでしょうか。

栃木県総合教育センター

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>



## 子どもの未来創造大学(出前講座)

鹿沼市、日光市において、“とちぎ子どもの未来創造大学”出前講座が行われました。“とちぎ子どもの未来創造大学”とは、県内の高等教育機関、民間企業等と連携しながら、小中学生が「本物」に触れる学習機会を提供している事業です。

地区内の子ども達も気軽に参加できるように、鹿沼市では下野新聞社の「下野新聞塾」、ながわ水遊園の「ちりめんモンスターを探せ!」を、日光市では関東電気保安協会「電気安全教室」の3つを出前講座として実施しました。どの講座でも子ども達が目を輝かせながら、本物に触れて、学ぶ機会を持つことができ、興味、関心をさらに深めることができた様子でした。

下野新聞塾(下野新聞社)



「どの記事がおもしろそうかな?」

ちりめんモンスターを探せ!(ながわ水遊園)



「レアチリモン」はいるかな?」

## 平成29年度上都賀教育事務所主催研修会の御案内

人権教育指導者一般研修(人権ふれあいフェスタ)  
平成29年6月2日(金)午後  
日光市市文化会館

PTA指導者研修  
平成29年7月13日(木)午後  
日光市中央公民館

地域連携教員等研修会  
平成29年7月27日(木)午後  
日光市中央公民館



上都賀地区の社会教育・ふれあい学習に関する情報は・・・

上都賀 ふれあい

検索